関大

発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　金田雅一
電話06（388）1121代表
振替口座大阪3－55594番

第51回定例代議員会開く

校友総会は11月下旬
一〇〇周年記念会館で

校友会の第五十一回定例代議員会が三月十八日午後一時半から大阪市中央区の大阪商工会議所ビル七階、国際会議ホールで、約三百五十人が出席して開かれ、平成元年度事業計画書、同収支予算書について審議、いずれも満場一致で承認した。事業計画書により今年の校友総会は、十一月下旬の日曜日に校友待望の一〇〇周年記念会館で開くことになった。また全国組織代表者会議は十月七日の土曜日に関西大学会館で開催する。

本年度事業計画など承認

この会議には久井忠雄理事長、大橋昭一教学部長（学長代理、大西昭男学長は公務出張中）、稲野治兵衛副理事長、吉田三七雄評議員会議長、校友国会議員ら多数の来賓を迎え、千葉、東京、神奈川、愛知、石川、岡山、広島、熊本などの遠隔地からも代議員が出席した。

会議は倉永悦雄総務部副部長の司会で行われ、畑下辰典副会長が開会のあいさつ、学歌斉唱、来賓、本部役員の紹介のあと篠原昭三副会長（樫本信雄校友会会長は病気のため欠席）が「新しい時代に入って校友会活動がますます活発になることを願い、意義ある代議員会になるよう、議案の慎重審議をお願い申しあげます」とあいさつ。母校の近況報告で、久井理事長から、一〇〇周年記念会館の建設、高槻新校地の造成の進渉状況、二部学舎の千里山移転問題、法文、経商学舎の増改築、工学部金属工学科の分割など、母校発展のため学内で検討されている問題について話があった。

大橋教学部長からも、これから国際的な舞台で、世界の中の関西大学をつくっていきたいという、教学の大きな意気込みを感じさせるあいさつがあった。

議事は荒井　廣議長、木村吉治副議長によって進められ事業計画書については山本守昭総務部長が総括説明、上原洋允事業部長、伴　義孝広報部副部長、宝田重幸組織部長からそれぞれ所管事項について、また上田高領財務部長から収支予算書について説明があり、承認された。

熱心に審議が行われた代議員会

事業計画書

平成の新年度に入り、新たな展望をめざすべき重要な節目に当たり、従来の継続事業の中でも、とくに財政基盤の確立、組織活動の推進を二大事業におき、全員参加の校友活動に向けて、前向きに取り組みたい。

なお、本年度校友総会は、校友待望の一〇〇周年記念会館を会場に、校友中心の集いを開催する。

これらを背景として、本年度の主要な事業計画を次のとおり策定した。

1．校友総会の開催

校友待望の「一〇〇周年記念会館」が、今秋竣工するのにともない、本年度総会は、千里山学舎の一角に新装なる記念会館を会場に、十一月下旬の日曜日に開催する。

なお、本年度の構想は、校友中心の集いとして、校友相互の親睦の実があがるよう企画したい。

2．スプリングフェスティバルの開催

毎年四月、桜の花見を兼ねて、母校の施設を見学する「スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～」も四回目を迎え、本年度は四月九日の日曜日、千里山キャンパスを会場に開催する。

とくに本年は、従来家族連れで行っていた校友総会が、校友に限定のため、スプリングフェスバルに家族連れの参加を歓迎するとともに、恩師を交えた支部・職域・同期会等のグループの集いも、この機会をご利用願いたい。

3．名簿事務の推進

昨年度末に刊行した「63年版校友名簿」は、発行部数一万部を数え、予想を上回る校友の協力を得ることができた。

このあと畑下辰典名簿委員会委員長から、二月二十日に刊行された63年版校友名簿の編集発行について経過報告があった。

なおこの会議では、代議員から校友会の財政基盤の確立、二部学舎の千里山移転問題などについて活発な意見が出された。

徳山喜昭副会長のあいさつで会議を閉会、続いて有志の懇親会に移り、永見英次総務部副部長の司会、稲野副理事長の発声で乾杯、最後は全員が肩を組んで遉遥歌を大合唱して散会した。

4．新聞「関大」の発行

他大学に例をみない、校友会の一大事業である新聞「関大」の発行は、会員数の増加にともない、毎月の発行部数が八万六千部を数えるに至った。

財政運営上の問題があるものの、母校と校友ならびに校友相互の連絡機関として重要な使命を担う「関大」紙として、本年度は、さらに内容の刷新を図り、年一回はカラー印刷とし、より読みやすく、より親しまれる紙面となるようつとめていきたい。

第三八五号から第三九五号まで、十一回の発行を行う。

向きに検討していきたい。

7．会員の慶弔

会員の慶弔については、内規によって慶弔の意を表しているが、漏れなきを期するため、校友各位の情報提供をお願いしたい。

8．財政基盤の確立

校友会普通会計の予算規模も一億二千万円に達し、本年度の収入予算も辛うじて財源を確保するといった窮状にある。

財政規模の増大は、諸費の高騰、なかでも新聞郵送料の増加が大きな要因である。

今後、校友会財政を維持していくためには、抜本的方策を講じる必要に迫られている。執行部として、財政の長期展望に関する委員会を発足させ、この問題に対処するが、校友各位にも終身会費の納入のために、一段のご協力をお願いしたい。

5．組織活動の推進

校友会活動の根幹をなす、支部・職域・同期会その他の関係組織との連携を密にし、「全員参加の校友活動」をめざして、より一層、支部活動の活性化、未組織ブロックの組織化の促進等の課題と取り組む。

本年度の全国組織代表者会議は、十月七日の土曜日、関西大学会館で開催する。

また、各組織の年次総会には、つとめて法人・教学代表にも出席を願い、母校と校友の絆が深められるよう、連携をはかりたい。

6．事業活動の推進

支部相互の交流と親睦に大きな役割を果たしている支部対抗親睦ゴルフ大会も、第五回目を迎え、本年度は、風薫る好季節の五月十七日（水）に、愛宕原ゴルフ倶楽部で開催する。

また、第二十回を迎える事業部見学会の記念見学会の開催をはじめ、校友の研修や母校の発展につながる事業についても、積極的に取り組みたい。

在学生に対しては、クラブ・サークルなどの諸活動の振興のため、校友としての側面的援助をしていきたい。

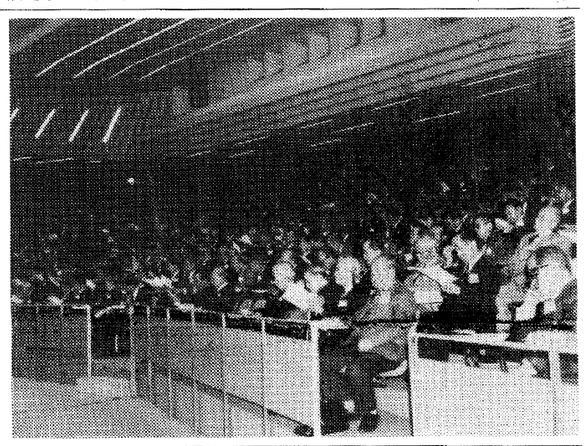
なお、母校役職者との懇談を通じ、相互の理解と協力の下に、より一層、校友会発展の基礎が確立できるよう、前

組織代表者会議は10月7日

展示計画決まる
今年度の総合図書館

総合図書館一階展示室の今年度の展示計画が決まった。

・第16回　歌舞伎の世界　四月三日～五月二十日
・第17回　サミュエル・ジョンソン　五月二十九日～七月八日
・第18回　北條秀司　九月二十一日～十月二十八日
・第19回　マリク書店（仮題）　十一月六日～十二月十六日


広い会場いっぱいの代議員

会と催し

▽泉佐野支部総会　四月二十九日（祝）午後三時　心斎橋サマーインディア
▽友粋会総会　五月十五日（月）午前九時半　地下鉄丸太町改札北出口　葵祭観覧
▽校友会第五回支部対抗親睦ゴルフ大会　五月十七日（水）午前八時　愛宕原ゴルフ倶楽部
▽年輪会総会　五月十八日（木）午後八時　八幸
▽春秋会卒業五十周年記念総会　五月二十六日（金）～二十七日（土）　有馬月光園
▽第十二回女子秀麗会総会　五月二十八日（日）正午　桜宮リバーサイドホテル
▽北摂丹波支部総会　五月二十八日（日）午後一時　篠山市民会館　大庭教授講演
▽第五十二回定例代議員会　六月三日（土）午後一時半　大阪商工会議所国際会議ホール
▽京都支部総会　六月十一日（日）午後三時　京都全日空ホテル
▽豊中支部創設四十周年記念総会　六月十七日（土）午後二時　梅田新阪急ホテル

平成元年度収支予算書

（単位：千円、以下切捨て）

収入 費目	63年度予算	元年度予算	比較
前期繰越金	20,600	7,000	△13,600
会費収入	48,600	44,600	△4,000
会費	600	600	0
終身受入金	48,000	44,000	△4,000
会費外収入	56,574	70,890	14,316
広告料	7,500	8,500	1,000
校友業務受託費	37,574	39,390	1,816
利息収入	2,500	2,000	△ 500
総会収入	8,000	0	△8,000
雑収入	1,000	21,000	20,000
合計	125,774	122,490	△3,284

支出 費目	63年度予算	元年度予算	比較
人件費	37,827	44,620	6,793
給与	25,362	29,840	4,478
期末手当	7,878	8,160	282
通勤手当	1,050	1,270	220
社会保険料	2,537	2,850	313
退職給与引当金繰入	1,000	2,500	1,500
物件費	5,720	5,340	△ 380
備品費	200	200	0
消耗品費	730	740	10
印刷費	1,800	1,330	△ 470
通信費	1,100	1,100	0
会費徴収費	1,000	1,080	80
交通費	200	200	0
清交社会費	140	140	0
雑費	550	550	0
会議費	3,855	3,905	50
代議員会費	600	600	0
常議員会費	900	900	0
部長会費	315	315	0
部会費	1,350	1,350	0
顧問参与会費	240	240	0
特別委員会費	450	500	50
事業費	69,720	64,800	△4,920
総会費	8,500	1,500	△7,000
事業費	2,200	2,050	△ 150
新聞印刷費	8,210	9,050	840
新聞発送費	41,530	44,250	2,720
編集諸費	2,730	1,355	△1,375
支部総会費	1,900	2,000	100
支部強化費	1,400	1,515	115
代表者会議費	350	380	30
学生援助費	2,300	2,300	0
慶弔費	600	400	△ 200
渉外費	300	300	0
割戻金	300	300	0
63年版大名簿特別会計繰出	5,000	0	△5,000
予備金	3,052	3,225	173
合計	125,774	122,490	△3,284

咲きほこる桜の下を散策する校友・家族たち

3千の校友・家族が集う
'89スプリングフェスティバル

春の陽射しが千里山キャンパスを明るく包んでいた。心配された前日の雨もあがり、散り残った桜がいっそう濃艶な姿で咲き誇っていた。ことしも春の〝校友デー〟「'89スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～」が、母校の協力を得て四月九日の日曜日に開催され、三千人近い校友・家族が千里山を訪れた。創立一〇〇周年記念行事の一環として生まれたこの催しも、四回目を迎えてすっかり定着し、本年は支部、職域その他ゼミ、同好会の集いが増え、関係者を喜ばせた。校友・家族は思いおもいにキャンパスを散策したり弁当を広げたり、総合図書館、考古学等資料室を見学、教室でグループの総会・懇親会を開き、応援団のアトラクションを楽しみ、野点の接待を受け、遉遥歌を合唱するなど、春の一日を心ゆくまで楽しんだ。

総合図書館前に本部、受付　部役員、大学関係者・職員がのテントがはられ、校友会本　待機した。

十時の受付開始ごろから、家族連れの校友が続々と訪れ、リボンとキャンパスマップをもらう。応援団が歓迎の演舞演奏を繰り広げた。生協もテントを張っている。弁当・飲物を販売している。集合目印しの支部や同好会などの旗も並び、人出がどんどん増えてくる。神戸支部一行五十人はバスをチャーターして三宮からやってきた。

正午から第一グラウンドで畑下辰典校友会副会長（樫本校友会長は病気のため欠席）、久井忠雄理事長、大西昭男学長の歓迎のあいさつがあり、応援団三パートによる「演舞」「演奏」「ドリル」が披露された。

教室で旧交温める

スタンドを埋めた校友・家族、大学関係者、特別招待の留学生、校友会役員などは、一つになって大きな拍手を送ったり、全員が肩を組んで遉遥歌を大合唱して〝学生時代〟を偲んだ。

ことし目立ったのは、ゼミや同好会の総会や懇談会など、それぞれ教室で旧交をあたためた。

午後三時、総合図書館前で応援団の演舞・演奏に送られ、参加者たちは母校をあとにした。（関連記事・写真2面に掲載）

11氏に学位記授与

関西大学は三月二十七日、次の各氏に学位記を授与した。

▽石月静恵（文学博士（愛知女子短期大学助教授））▽寺西貞弘（文学博士（和歌山市立博物館学芸員））▽中野達也（工学博士（関西大学大学院工学研究科応用化学専攻博士課程後期課程修了））▽小椋仁志（工学博士（関西大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程後期課程修了））▽戒田郁夫（経済学博士（関西大学経済学部教授））▽肥田晧三（文学博士（関西大学文学部教授））▽松浦　章（文学博士（関西大学文学部教授））▽春日淳一（経済学博士（関西大学経済学部教授））▽高柳龍芳（商学博士（関西大学商学部教授））▽酒井文雄（商学博士（関西大学商学部教授））▽木村隆一（工学博士（神戸商船大学助教授））

◇妹尾剛光社会学部教授は六十三年五月二十三日、京都大学経済学博士の単位を取得した。

7教授に名誉称号

関西大学は三月三十一日付で退職した次の各教授に「関西大学名誉教授」の称号を贈ることになり、四月一日午前十時から、関大会館二階来賓室で称号授与式を行った。

▽広岡英雄（文学部教授）
▽鈴木祥蔵（文学部教授）
▽上田昭三（経済学部教授）
▽植野郁太（商学部教授）
▽尾崎康夫（社会学部教授）
▽秋田鴻之助（工学部教授）
▽小川雅彌（工学部教授）

第5回支部対抗親睦ゴルフ大会
愛宕原ゴルフ倶楽部で

とき　五月十七日（水）
ところ　愛宕原ゴルフ倶楽部（兵庫県宝塚市切畑字長尾山五一三）
競技方法　18ホールストロークプレイ（ローカルルール適用）新ペリア方式採用（競技委員長・ゴルフ場支配人委任）
表彰　団体戦…上位五位まで入賞（各支部上位四人のネット合計により決定）
個人戦…上位二十位まで入賞。飛賞あり。
表彰式　競技終了後、クラブ食堂で成績発表ならびに懇親会。
参加費　六千円（プレイフィ・昼食等ゴルフ場での支払いは各自負担）
申込方法　一支部四人以上、先着順二〇〇人で締切。最終四月二十五日必着で校友会事務局まで。
個人での申し込みも歓迎。但し、支部として四人に満たない場合は、個人戦のみの参加となります。

葬の雫

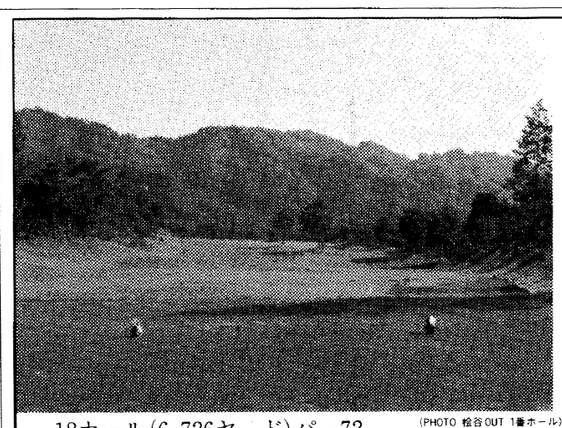
新卒業生を送り新入生を迎えたキャンパスに、今年も校友会の「スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー」が盛大に開催された。他の花見もよいが母校というところがうれしい。いわゆる落花狼籍の乱雑な不愉快もなく、むしろつねに青春にひたれる良ささえあるように思う◆かつては、入学決定が「サクラサク」であり、不合格は「サクラチル」の電報が本流であったが、今年はどうであったろうか。咲けば明るい大学生活が始まるが、散っては浪人生活が待っている。しかし、近頃は、浪人生活が恥ずかしいものではなくなってあくまでも志望校への一里塚ぐらいになっている。親もたいへんである◆東京の友人の子息が、志望校を落ちた。すべりどめで受けた神戸大医学部は通っていたのだが、あくまで東北大の医学部だという子息の希望で神戸大には入学手続きをとらなかったという。いや、手続きをとった時点で東北大入学の資格を失ういまの制度では、親としてもとるべき術がなかったというのである◆ある評論家が勉強のやり方に、「本を読む、人に会う、旅に出る」の三つをあげていたが、私は、「通学すること」を加えたいと思う。どんな学校であっても、通えるときに通うことが大切であり、また通えることがもっともむつかしい。経済的にも肉体的にも時間的にも、全てに恵まれなければ通えない◆その友人によれば、子供たちには、関ケ原から西の大学はランクが下だというのである。私は、ほとんど怒りに近い腹立たしさを覚えていた。一人の合格の陰には、多くの犠牲があり暗い青春があるのだ。人の痛みもわかろうとしないエリート医者なんて必要ないのだ。サクラよチレである。

新しい包装文化をひらく
ザ・パック

71年の歴史に支えられたハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama KATANO 1918
株式会社カタノ
〒541　大阪市中央区北浜2丁目1番21号
北浜カタノビル1F
☎06-231-0565～7
近鉄百貨店紳士服特選お誂えコーナー
上本町店・枚方店・奈良店・橿原店

内外国特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
大花興産ビル2F・3F
（四ツ橋交差点西角）
（地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
電話　大阪〇六（五三一）七四一一（代）
国際テレックス〇五二五九〇五　TSIPOL
ファックス〇六（五三一）七四一五

ゆかしい特選陶器
京・清水焼
朝日堂
〒605　京都市東山区清水一丁目280
電話（075）531－2181
代表取締役　淺井國勝（S.45卒）


18ホール（6,726ヤード）パー72　（PHOTO 檢谷OUT 1番ホール）
交通
●名神高速道路瀬田西I.Cからクルマで25分（約20km）●名阪道路伊賀・の宮I.Cからクルマで35分（約25km）●国道307号線・枚方より約75分、国道163号線・木津より約50分
日本国際連合協会滋賀県本部指定ゴルフ場
オレンジシガカントリークラブ
ORANGE SHIGA COUNTRY CLUB

コース整備も着々進行
＝充実した春を迎えました＝
'84年11月オープン以来、5年目の春を迎え、コース状態も抜群。雄大な信楽の自然に広がる気品のあるコースとして、着実に名門の道を歩みつづける
オレンジシガカントリークラブは、
プレイや憩いに、質の高いゆとりを育てています。
日頃のご支援に感謝を込めて―校友の皆様に特典
●平日に限り優待料金でプレーできます。
●直接エントリーをお受けします。
氏名、卒業年・学部をお知らせ下さい。
●お申込み・お問合わせは、コース（0748-83-0111）まで。
関西スポーツランド株式会社
■コース　滋賀県甲賀郡信楽町宮町字檜谷1000番　☎0748(83)0111(代)
■本社　滋賀県野洲郡野洲町小篠原2229－17　☎0775(87)5766

ダイヤモンドのことなら……
70年の信頼
心斎橋の輝く宝石"ツルヤ"でお選び下さい
時計　宝石　眼鏡
心斎橋　ツルヤ
(06)211－1024

桜のキャンパスで学生時代懐しむ

160人が集い懐旧の宴

フランス文学科40周年祝賀会

人はいざ心も知らず千里山（ふるさとは）花ぞ昔の香にほひける

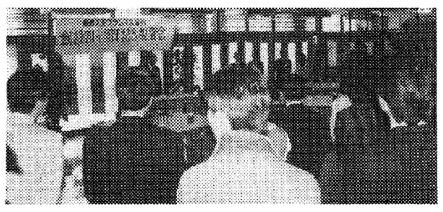
「春」の意は、田畑を「墾る」、気候が「晴る」或いは木の芽が「張る」などからきたといわれる。奇しくもフランス大革命二百周年に当たるこの年、我が関西大学文学部フランス文学科が千里の森に産声をあげてより四十年を迎え、時まさに春爛漫の四月九日、千里の山の懐の字義通り「晴れ」わたった空の下、生協大食堂に集いしご来賓の方々をはじめ仏文科卒業生、現役学生、新旧スタッフら関係者百六十人が所せましと「張り」さけんばかりの盛会をなした午後三時、かくて二次祝賀と懐旧の宴」の幕は切って落とされた。

山村嘉巳教授の司会により、学科代表の小方厚教授が開会の挨拶として、故三木治教授が仏文科を創設されて以来の学科の来し方を振りかえって感慨を述べられるとともに、参集を賜はった方々への深甚なる謝辞をもって会は始まった。

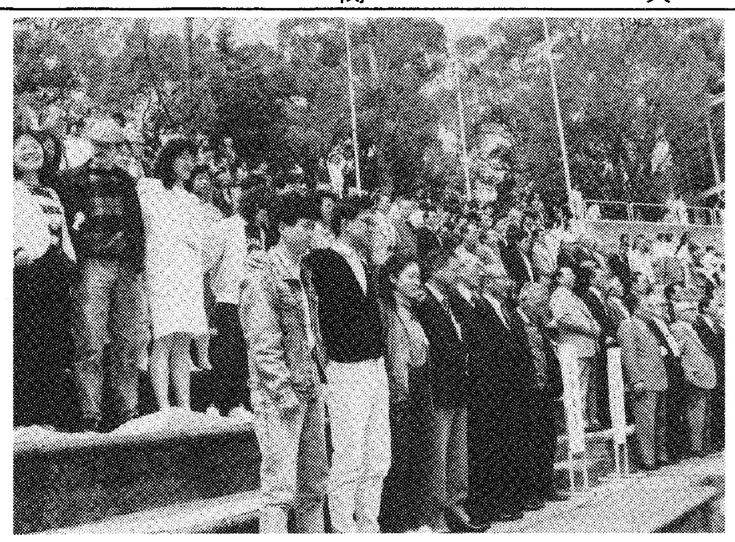
はじめに大西昭男学長より「仏文科には花がある」といった意味の、仏文科関係者の耳にいたく心地良く響く御祝辞をいただいた。次に、第二期の卒業生でもあられる前原昌仁教授より、故三木教授の御苦労や草創期当時の様々なエピソードの披瀝があり、この歴史と伝統を引き継いで、更に発展的に前進する我々スタッフの決意を表明して祝辞を締めくくられた。

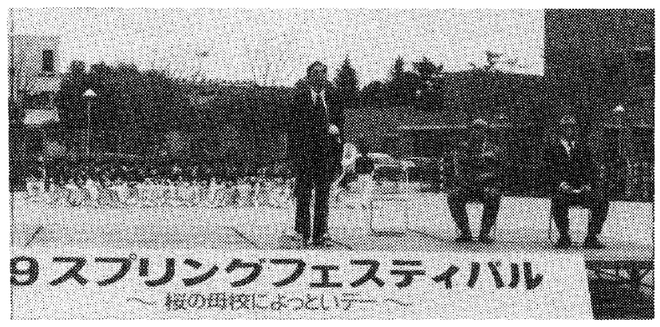
つづいて第一期卒業生谷田啓二氏が、同期の桜で今は亡き重本利一元教授のことども を懐旧しつつ当時の思い出を一齣語られたあと乾杯の音頭をとられた。

宴もたけなわになりかけた頃合いを見計らい、旧職員の方々のスピーチが始まる。元九州大学教授田中栄一先生は第一期、第二期の当時の頃が懐かしく回想される旨を述べられ、愛知県立大学教授山方達夫先生も、故人となられた大川克夫教授にまつわる思い出や、懐かしい顔に再会する喜こびを吐露された。又、少し遅れて来られた加藤美雄元教授からも、在職当時の懐旧の談に加え艱な御祝辞を頂載した。



一息いれたあと、現役スタッフの紹介があり、その後は芦屋大学教授伊川徹氏、本学助教授福井七子氏らO・B有志によるスピーチに移ったが、なかでも卒業生として最長老であられる太田正平氏が小方先生より手ほどきを受けられたモンテーニュのことなどに触れ、遠々十分間の長きにわたって学生時代の思い出を語られたこと、又二部第一期の宮本正彦氏が京大の桑原・生島両教授らと一対一で個人教授を受けられた当時の心境を縷々開陳されたこと、そして、第八期の志田享氏があるる事情の為めに友人の手に渡ったままで、今だに戻って来ない御自分の卒業証書の行方を探しておられる訴えをきわめてユーモラスに語られたことなどはまことに印象深かった。





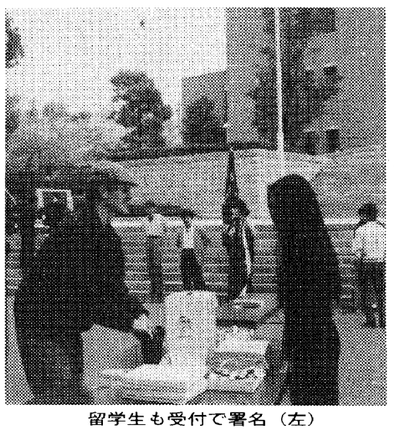
（上）逍遥歌を合唱する参加者
（下）あいさつする畑下副会長

飛雲会が楽しい集い

飛雲会ではスプリングフェスティバルを機に追間健（岸本敏畝）氏を囲む会」として懇会を開いた。同氏は五木ひろし、小林旭など著名な舞台の脚本演出家として活躍中で、我われの知り得ない芸能界の裏話裏話に花が咲き、特に五月大阪新歌舞伎座の五木ひろしの舞台の脚本演出には非常に興味があった。式典終了後、昼食を共にしながら、また喫茶店へと場所を替え、話題を変え、最近の世相、消費税問題に、あるいは校友の近況など話はつきず、お互いの健康と再会を期し、夕刻解散した。出席者（順不同）岸本敏畝、中山晴光、樋口嘉一郎、西脇吉幸、山下徳次、信本松夫、富田淑郎、浮穴国男

家族同伴で総会・懇親会

留学生も受付で署名（左）



東井ゼミOB会、経済研究部OB会、関西大学会計人会は午前中に会議、総会などがひらかれた。会計人会には紅一点の安倍智子校友が参加していた。

正午よりメーンイベントの行事が第一グラウンドで開催された。そのころ二、〇〇〇人にふくらんだ校友、家族らが四方から参集した。広いグラウンドのなかで倉永悦雄総務副部長がマイクをにぎりしめて大声で開会を宣言した。応援団演舞、演奏、鯉の滝登りは圧巻であった。みんな若きころにもどり思い思いの当時の学生時代を懐古しているのだろう。シーンと静寂のなかで大西昭男学長らのあいさつに耳をかたむけていた。

留学生も交流の輪

今年もスタンドの一部に留学生諸君が陣をとった。中国、韓国、台湾らの常連に加えて、はじめてのオーストラリアの留学生も出席していた。国はちがえてもみんな仲良く会話し、楽しんでいた。

三時から生協食堂でフランス文学科創設40周年記念祝賀会のパーティがひらかれた。着物姿もあってはなやかな雰囲気、出席校友のどの顔にもよろこびがあった。

陽が西にかたむいたころ、西村食堂横の満開の桜を後にしてみんなが母校を去った。来年の再会を胸にした。（広報部）

東井先生囲み懇親

東井ゼミOB会（千里東光会）では'89スプリングフェスティバルに初めて団体として参加させて頂き、なつかしい教室で東井先生を囲んでの懇親会は、まるで学生時代にもどった様な気持ちで話が次から次へとはずんで、時間のたつのを忘れる程でした。

正午になって第一グラウンドに席を移し学校側の行事に参加。応援団三パートによるアトラクションでなつかしい学歌等を聞かせて頂き、最後に全員肩を組んでの逍遥歌の合唱。再び元の教室に戻って昔話に花をさかせ、最後に総合図書館、考古学等資料室などを見学させて頂き、また来年も集まる事を約束し解散しました。（会長・田中憲三）

野点の接待を受ける校友たち

会計人会が総会

関西大学会計人会（会長徳永武氏）の総会は、毎年市内のホテルを会場としていたが、本年は徳永会長の発案でスプリングフェスティバルと合流して開催した。

出席者は三十人余で、家族連れもあり、卒業以来三十年ぶりに母校を訪れた会員もあり、会場にあてられた経商学舎の教室で、日頃使いなれない学習椅子に座り、落ちつかぬ様子であった。

徳山校友会副会長より祝辞があり、そのあと事業報告・会計報告を承認し、折詰弁当を手に第一グラウンドのフェスティバル行事を楽しみつつ散会した。

神保会の集まり

春の校友会を機に、わが「神保会」の幹部を中心に十数名が集まり、今年一年間の行事計画を練った。まず総会をいつ開くかを決めた後、就職シーズンを控えて、後輩達を如何にして優良企業に一人でも多く入社させるかが主なテーマであった。

久し振りに見る母校で一番気がついたのは、キャンパスの木々が大きくなり、一層大学らしくなった、との事であった。とは言え、自分たちが学んだ古い学舎にも深い愛着を感じているようであった。総合図書館は好評で、このような立派な図書館で勉強できる後輩が、ちょっぴり羨ましそうであった。ともあれ、母校の発展に満更でもない様子であった。

（経済学部　神保　一郎）

OBと現役が交流

一昨年、昨年に続き本年も中国文化研究会OB会を開催。毎年開いているためか、OB参加者は五人であったがそれぞれ近況報告をし、現役生とも交流を行った。現在、現役生は六月十七日に行われる語劇に向け全力投球、充実した毎日を送っている旨の報告が現役生よりあり、OBより激励を受ける。そして、この時とばかり、現役生より参加者へ、劇団中国公演実現へのカンパのお願い。（さすがー?）また留学生五人（オーストラリア・中国・台湾等）の飛び入りもあり、今年は、前二回に比べ、国際的な雰囲気の中で楽しく過ごせた。留学生に感謝、感謝！（中文　西川和男）

守谷ゼミの同窓会

'89スプリングフェスティバルで、守谷ゼミ同窓会（守交会）は、OB・現役懇親会を行った。守交会の懇親会はスプリングフェスティバルとともに四回目になるが、例年とは違い、暖冬と前日の雨のせいか桜も半分ほど散っており、花見には少し遅い感があった。しかしながら、桜の下ではOB・学生ともに就職について、学生生活の話題等が尽きず時の経つのも忘れるほどだった。もっとも当日は学生十六人に対し、OBは五人と寂しく、守交会として次回は、もっとOBの参加を募りこの集いをより充実したいと思う。

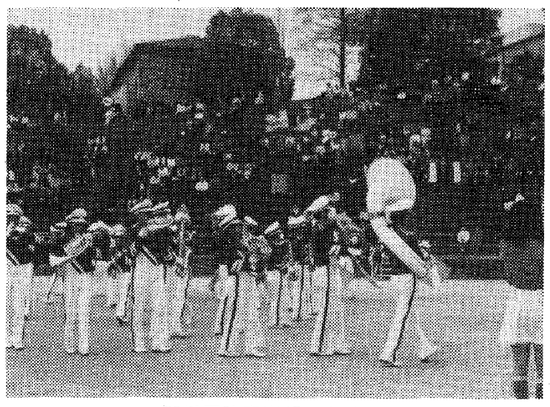
超高周波工学研究室OB会

スプリングフェスティバルに参加した工学部超高周波工学研究室のOBが研究室に集まり、森田正信教授を囲んで旧交を温めた。参加者の少ないのは残念であったが、母校の変貌ぶりに話がはずんだ。研究室の見学、写真撮影の後、再会を約して散会した。

なお、当研究室の客員研究員であった大阪経済法科大学の瀬戸教授が訪れ、四月一日より学生部長に就任したとのことであったので皆でお祝いを述べた。（I記）

西成支部の懇親会

'89スプリングフェスティバルには西成支部から八人が参加し懇親の場を持った。桜の陽光の下に繰り広げられる野点では、茶を立てる学生諸君の姿に日本文化の侘び の趣を味わい、考古学資料室の「本山コレクション」に現代からタイムスリップし、石器や鉄器に込められた古代人の一念に感動し、おりから始った第一グラウンドでの挨拶をきき、都市アメニティ度の高い吹田市を観光し、エキスポランドで鯉魚や黒龍江の断片を見学して帰路についた。六月二十三日金曜日午後六時半より岸里の上海園で総会の開催を決定したのでアーバン・ルネサンスである例会に参加しましょう。



応援団吹奏楽部のドリル

各地から36人参加

一六会同窓会総会

一六会（昭和十六年三月、学部卒）は、三年ぶりにスプリングフェスティバルに合わせて四月九日、千里山駅前、音羽鮨で同窓会総会を開いた。東京、四国、広島からなど遠方からの会員も含めて三十六人が出席。総会は午後三時からだったが、久しぶりに千里山キャンパスを訪れて、フェスティバルに参加、総合図書館や、考古学等資料室を見学した会員も多かった。

総会では、前回後に物故した高木秀玄・弟子丸寛、寺畠悟、野崎隆雄、能仁三郎、久見秀雄の諸君の冥福を祈って黙祷ののち宴会に入り、近況を自己紹介し、来年は竣工百周年記念会館で開催することにして散会した。（稲野）

場外総会で気勢

商学部亀井ゼミOB会（白樺会）は、平成元年度の総会から関大スプリングフェスティバルの日程に合わせることになった。桜花爛漫の四月九日午後二時よりA二〇八教室で四十八人のOB、十四人の四年次生の出席のもとに議事が進められ、懐古談と就職説明に花が咲いた。

総会は場外に持ち込まれ、関大前通りのシヤモーニュでビール・パーティとなった。今回は日程を急に変更したため参加者が少なかったが、それでも亀井ゼミ第一回卒業生（昭和三十六年）から第二十七回卒業生（平成元年）まで幅広く出席者があり、幹事の藤田昭雄君（昭四十二年卒、レナウン勤務）を喜ばせた。（亀井利明）

吹田支部総会開く

スプリングフェスティバルに協賛し、『校友会吹田支部定時総会』が、賑わう千里山キャンパスで開催された。

本部より徳山副会長を来賓に迎え、総務部長の司会で、午後一時半に始まり、佐々木砂夫支部長の挨拶の後、議長を選出した。

幹事長の経過報告、事業部長から事業報告、会計より会計報告がされた。その後の役員改選では、現役員の留任が承認された。

総会後、支部で用意の飲物とおつまみで、懇親会が行われ、午後三時に散会した。

高槻支部家族懇親

散り初める桜の下、集まった高槻支部の面々は、有福支部長に全員写真を写してもらった後、野点会場で緋毛氈の床机に腰かけて男女学生の接待を受け、次いで考古学等資料室で祇園精舎第三次発掘調査特別展等を見学し、第一グラウンドで、校友会長（副会長が代理）、理事長、学長の挨拶を受け、理事、留学生に拍手して、応援団の大ダイコの轟音に送られて、懇親会場に移り、お互いの近況を報告し合った。

散る桜、残る桜も散る桜、の感を深め、懇親を終え、更に学内散策へと向かった。今回参集されなかった皆様、来年にはぜひ共ご参集の程を。（副支部長・岩健次郎）

昔話に花が咲く

拳法部OB会総会は、桜吹雪は残念ながら失したが、久しぶりの母校、スタンドに座りあいさつを聞きつつ数十年前、汗をしながら階段を登り下りしたことを思い出していた。残念?グラウンドが半分になり、新図書館がドンとそびえているのは関大の新しい顔としてほこりにしたいと思う。さて総会の室にと学舎に入りビックリ、関大の学舎?と目をおおいたくなり、家族を同伴しなくてよかったと思ったのは私だけではないだろう。しかし室では何十年ぶりの顔もあり、昔話に花が咲き、時間はあっという間に――。来年はきれいな母校での再会を約し正門をあとに……（田中章博）

現役部員と合同練習

難乃部OG会はスプリングフェスティバルに参加して千里山キャンパスで総会を開催した。OG会の今後の活動方針として、現役生への指導と援助、OGの研鑽の場として毎土曜日の練習会開催等の決定、確認が行われた。（なお当練習会は、本学卒業の全OG各位の参加も認めるものとする）

十一時より、会場を凱風館に移し、内山涼子（五十六年卒）コーチのもと、現役部員とOGによる合同練習会を持った。胴着、袴に威を正し、快晴の花日和のもと、お面、お胴と爽快な汗を流し、厳粛な中にも和やかな総会は、現役生の多大の協力に感謝し散会した。

家族同伴で懇親会

体育会バドミントン部OB会は'89スプリングフェスティバルでOB・家族の懇親会を行った。満開の桜を眺めつつOB・家族と共に弁当をひろげ花見を楽しみながらOBの懇親を深めていこうという趣旨のもとに参加を呼びかけ、約三十人の出席をみた。教室を借り、ここでは、ひとしきり昔話に花が咲き、気持ちは、すっかり何十年前に逆もどり、何十年ぶりで母校を訪れるOBもあり、キャンパスの変貌ぶりにただ驚くばかり。OB・家族共々懐しく楽しい一日を過ごした。

会長、役員を改選

マンドリン倶OB会

マンドリン倶楽部OB会の総会を四月九日、生協食堂2F喫茶部で開催した。第一部は六十三年度の活動報告及び会計報告があり、引き続いて役員改選について審議された。OB会は今春二十八期生を迎え、会の活動に若々しいエネルギーを吹きこみ、より一層の充実を図るため、会長に十六期・黒田雅文氏を始め、新役員が決定した。第二部の懇親会は、参加者の自己紹介を交えたなごやかなものとなった。

くつろいだ雰囲気の中で現役部員への寄付のためのオークションが行われ、楽しいひと時を過ごした。

女子秀麗会幹事会

花吹雪の中の再会、スプリングフェスティバル参加二度目の女子秀麗会幹事会。前回のお花見幹事会に味をしめた人達の宣伝もあってか幹事の出席率は上々会長以下総勢二十人、総会に向けての準備会とあって真剣そのもの、議論は「総会如何にあるべきか」から「女子秀麗会いかにあるべきか」へと発展し、活発な意見・過激発言もあって、神戸組は支部仕立の帰りのバスに乗り おくれてもひるむ事なくケンケンガクガク。事務局に刻限を宣告されてやっと閉会。

語り切れない女の想いは正門前の階段に座り込んでの二次会、喫茶店に場所を移しての三次会と果てる事なく拡がって行った。

神戸支部の家族会

神戸支部では毎年家族会を催しているが、本年はスプリングフェスティバルに参加する事にした。豪華観光バスに佐野支部長はじめ山崎名誉支部長、上田幹事長以下五十余人が乗り込み、午前九時三〇分三宮を出発、阪神高速・名神を通って豊中インターで降り、一路母校へ。学校周辺は道路が狭く大型車は通行規制されているが、無事花檀町入口から大学会館駐車場へ到着した。それから集合時間の二時半まで自由行動とし、おもいおもいに母校の庭を散策した。桜もやや終わりに近ずいていたが、葉桜になりかけた花を愛でながら、なごりの春を存分に堪能した。（井田）

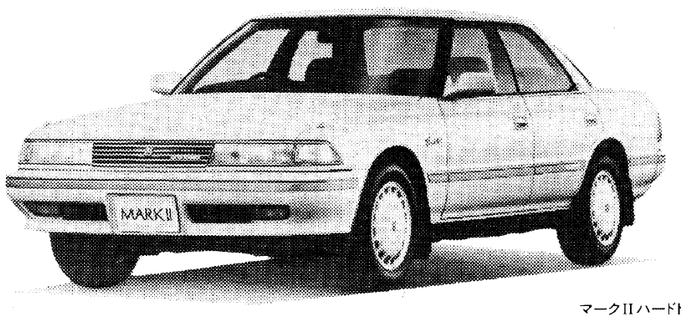
OB、現役懇親会

経済研究部OB・現役の交歓をかねて二十七人が参加した。第二学舎二〇七教室が懇親会場であり、教室での歓談ののち、現在は物置になっている第二学舎階段下にあった旧部室を訪ね、回顧しきりの談笑後、現在の部室でOB会幹事会開催。正午、第一グラウンドの行事に参加。校友会長代理、理事長、学長の歓迎の挨拶につづいて、応援団の演舞、演奏、学歌、逍遥歌等、一度に青春がよみがえってきた。終了後、野点の接待を受け、孝古学資料展を見学。三時より千里山音羽鮨でOB、現役合同懇親会が開かれ、なごやかな雰囲気のもと、最後はやはり逍遥歌でしめくくり来年の再会を約して六時散会した。

雄大な海岸美　緑豊かな山々
山陰の旅情＼香住海岸
新鮮な海・山の幸を料理！　懇親旅行、ゼミ旅行などお気軽にご利用下さい（海水浴の予約受付中！早目にどうぞ）
◆豊富な海の幸荒磯料理
◆高級和牛のふるさと但馬牛料理
◆冬の味覚かに料理（11月初～3月下旬）
その他ご予算に応じて料理致します。
山陰海岸国立公園（運輸省国際観光民宿）
海辺の宿はまかぜ荘
香住生まれのOBが経営しております
ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ
TEL.07963-6-0773（香住駅から車で4分）
〒669-65 兵庫県城崎郡香住町下浜

関大、関大一高・一中、幼稚園御用命
特製　学章・校章型薯蕷
和洋御菓子司
株式会社　昌月堂
〒556 大阪市浪速区難波中3丁目13－28
（難波府立体育会館南通り公園前）
電話　641－1666（代）
641－6565
FAX　647－6478
常務取締役　山本雅巳
（昭和53年学1法卒）
特別割引券　関大

Furniture Salon
西田家具
本店　大阪市都島区都島本通3丁目24番6号
〒534　TEL 06（921）2677番（代表）
ファックス（06）922－9722番

名車の予感
NEW MARK II

マークIIハードトップ グランデG
マークIIらしいモデルチェンジが、できました。
ソアラ・マークII・コロナ・コルサ
神戸トヨペット
（本社）神戸市兵庫区水木通2丁目1番1号☎078（576）5001

●てっちり　●くじら鍋　●くえ料理

徳家
千日前・相合橋筋商店街　★年中無休（但し、8月は全休）
〒542 大阪市中央区千日前1丁目8番2号
TEL.（06）211-4448

孫基禎氏らに4賞贈る

大島鎌吉スポーツ文化賞贈呈祝賀会

大島氏から月桂樹を受けた

孫氏からヘルメットを贈られた久井会長

ロサンゼルス五輪の三段跳びで銅メダルに輝き、わが国スポーツ界の発展と平和運動に貢献した故大島鎌吉氏（9大法）の業績をたたえて「関西大学体育OB会1582人十α委員会」（会長・久井忠雄関西大学理事長）によって創設された「大島鎌吉スポーツ文化賞」の第一回贈呈式が、大島氏の命日にあたる三月三十日午後六時から大阪駅前のヒルトンホテルで行われた。

祝賀会での受賞者たち

贈呈式には「ホップ賞」（関西大学スポーツ文化賞）金子晃氏（55学一社、海外青年協力隊員としてネパールで柔道の指導に当っていたがこのほど帰国した）「ステップ賞」（関西学生スポーツ文化賞）園田学園女子大学硬式テニス部代表として林栄一学長、西山征監督、選手一人、「ジャンプ賞」（日本スポーツ文化賞）㈶日本アマチュアレスリング協会代表として笹原正三同協会理事長、小林孝至、宮原厚次、太田章のソウル五輪メダリスト「トリプル賞」（国際スポーツ文化賞）孫基禎氏＝韓国＝が出席した。

大西昭男選考委員会委員長（関西大学学長）の選考結果発表のあと、久井会長から賞状と副賞が贈られた。

続いて約三百人が出席して祝賀会に移り、受賞者に花束が贈られ、孫氏が受賞者を代表して「大島先生の功績を記念するこのような賞をいただき、感慨無量です」とあいさつした。

また孫氏がベルリン五輪のマラソンで優勝したとき、ギリシャ政府から贈られ、韓国国立博物館に保存されている古代ギリシャのオリンピックヘルメットのコピーが、孫氏から久井会長に贈られた。

また大島氏の長男章和氏から関西大学に対し、大島氏の著作権と同氏が自宅に植樹した「月桂樹」からの挿し木が寄贈された。

平成元年の新関大生

豪、仏からも留学生入学

関西大学の学部入学式は四月三日、第一部が千里山学舎で、第二部が天六学舎で行われた。

第一部は五千九百九十人（うち女子学生、千四百一人）第二部は四百四十五人（同四十八人）計六千四百三十五人が入学した。

大西昭男学長は「この自由の空気の中で、諸君の胸の内の〝大いなる自己〟を大きく羽博かせてもらいたい」と式辞を述べた。

・今年は欧米からはじめて二人の留学生が入学した。商学部（第一部）のリチャード・ビクター・セイバトン君（二九）＝オーストラリア＝とチタリー・ベシエールさん（二一）＝フランス＝で、セイバトン君は「帰国後、豪日国際貿易と商業の分野での仕事に従事する目的を持っており、そのためには、日本の商業や貿易の中心である関西地区にある有名で歴史の古い関西大学で学ぶのが良いと思った」と話しており、日本人学生と一緒に生活し、英会話を教えたいために「関西大学学生国際交流館・秀麗寮」に入寮した。

ナタリーさんは「日本での二年間の日本語専門学校で勉強した日本の知識を、さらに大学で深めたいと考え、有名大学の一つで、環境のよい関西大学で学びたいと思った。帰国後は、貿易関係の仕事に就きたい」と語っている。

4600人の新学士

千里山と天六で卒業式

関西大学の卒業式は三月二十日に挙行され、四千五百九十二人の新学士が誕生した。

千里山学舎では、午前十時から第一部の法、商、工の各学部が、午後一時から同じく文、経済、社会の各学部が、ついで天六学舎では、午後五時半から第二部が式を行った。

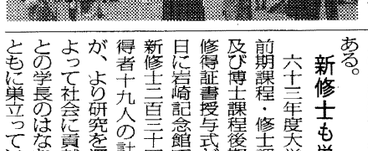
大西昭男学長は式辞で「自己の真価を世に問うべき時が来たのだ。今は先ず、あるがままの自己を世に問うべし」と述べた。

新しく学士の称号を認められるものは、法学部六百七十六人（第一部五百六十七人、第二部百九人）、文学部六百六十八人（各、六百十人、百三十二人）、経済学部七百四十二人（各、六百十人、百三十二人）、商学部七百五十二人（各、六百八十三人、六十九人）、社会学部八百二人（各、七百五十四人、四十八人）および工学部九百五十二人の合計四千五百九十二人である。

新修士も巣立つ

六十三年度大学院博士課程前期課程・修士課程の修士記及び博士課程後期課程の単位修得証書授与式が三月二十三日に岩崎記念館で行われた。

新修士二百三十四人、単位修得者十九人の計二百五十人が、より研究を深めることによって社会に貢献して欲しいとの学長のはなむけの言葉とともに巣立っていった。



新会長に北尾郁之介氏

関西大学体育OB会総会

北尾新会長

関西大学体育OB会（松井清会長）は、平成元年の総会を三月十七日午後五時半から、新阪急ホテルに約二百人が参加して開催、母校から稲野副理事長、校友会から徳山副会長のほか、関学から米田体育会OB倶楽部幹事長らが駆けつけ祝意を表した。

今回の総会では、任期満了にともなう役員の改選が行われ、松井清氏を顧問に、新会長に北尾郁之介氏（23経、アメリカンFB）を選任したほか、新役員が次のとおり選出された。

【会長】北尾郁之介【副会長】鳥居康三（柔道）河合光熙（ラグビー）宝田重幸（体育会本部）福本昌三（ボクシング）山本新吾（水上競技）【理事長】田中章博（日本拳法）【副理事長】小西逸平（アイススケート）三沢恒次郎（体育会本部）

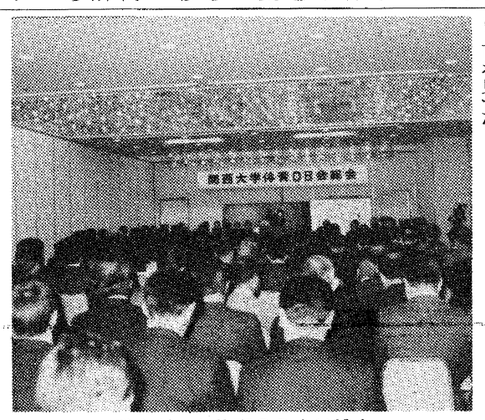
なお常任理事のうち各部長の選任では【総務部長】宇賀大三郎【事業部長】新美健治【広報部長】船田正義【組織部長】浦田吉伸【財務部長】川北昌博【監督・コーチ部長】黒津忠夫の各氏が選ばれ、その他【監事】吉本孝治（ハンドボール）秀高篤（野球）古川好男（サッカー）等各氏を選出した。

また、このたび制定された大島鎌吉スポーツ文化賞に関し、経過説明のあと、三月三十日、ヒルトンインターナショナルで行われる贈呈式ならびに授賞パーティへの参加の呼びかけがあった。

最後に四月一日から新会長に就任の北尾氏が挨拶で、矢野文雄、津田弘、岩佐清二郎、大島鎌吉、松井清の三十年間五代にわたる歴代会長の功績をたたえ更に今次の会長職に対し「実のある後押し」をと結び、温い拍手の激励を受けた。

総会では、事業、予算等の承認のほか、恒例の現役表彰が行われ第一部を閉じた。

第二部懇親会は、矢野初代会長の発声で乾杯、体育会所属四十六部OBの親善交歓の場にふさわしく、活気に満ちた雰囲気がかもし出され、盛り上りを見せた。


盛会だった体育OB会の総会

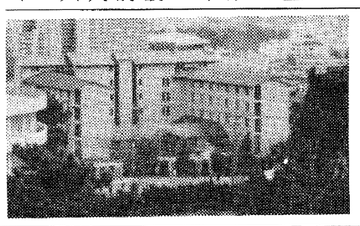
学生国際交流館・秀麗寮完成

旧秀麗寮跡地に建設中だった「関西大学学生国際交流館・秀麗寮」が完成。四月一日にオープンした。

同館は交換留学生も入寮できる学生寮として新たに開設された。寮内では、交換留学生は日本人学生とペア（二人部屋）で生活することになる。また、四年次生の卒業研究や就職活動等を配慮して一人部屋も設けている。

施設は、男子棟と女子棟に分れ、鉄筋コンクリート造四階（男子棟は一部五階）で、一階が共用スペース（食堂ホール、図書室、和室、浴室、ラウンジなど）、二階以上が居住スペース（寮室、シワー室、洗濯室など）。男子棟、女子棟ともエレベーターを設置し、寮室と共用室には空調設備を完備している。収容人員は、一八二人（男子一三六人、女子四五人）。

なお、夏季休業期間中には、本学で開講される外国人学生のためのサマーセッションの際の宿舎として提供される。



一泊グルメの親睦の旅

北摂丹波支部の22人

北摂丹波支部（上辻昇支部長）は二月十九日、二十日の両日、京都府熊野郡の久美浜町へ「グルメ一泊親睦旅行」に出掛け、二十二人の支部員がカニ料理に舌つづみを打ちながら、学生時代の思い出話に花を咲かせた。

同支部は、昭和六十三年度事業として、五月の支部結成一周年ファミリー総会、八月の篠山デカンショ祭り参加と平成元年二月の親睦旅行を計画、支部員のコミュニケーションを深めるのに全力をあげており、この親睦旅行が最後の行事。

十九日午後一時、三田市役所前に集合した二十二人の支部員はマイクロバスで出発。昭和六年に商経学部を卒業した大先輩加来茂彦さんも元気な姿で参加。車中カラオケなどを楽しみながら午後五時前に久美浜の〝たちばな荘〟に到着。町営温泉で疲れをいやしたあと午後六時半から宴会に移り、日本海とれたての新鮮なカニずくしの料理に舌つづみを打った。宴会の席では、先輩、後輩の壁はまったくなく、学生時代の楽しい思い出話があちこちで花が咲き、夜遅くまでなごやかなムードに終始。二十日は午前九時半に〝たちばな荘〟を出発、福知山市の〝かき末〟でカキ料理の昼食、午後二時半に三田市に帰り、散会した。

参加した支部員たちは「こんな楽しい行事は毎年続けるべきだ。先輩、後輩が一堂に会して話し合う機会が多いほど支部のコミュニケーションが深まる。楽しかった」と口をそろえ、次回の親睦旅行実現を強く望んでいた。

17人が親睦の一夕

家事調停委関大会総会

大阪家事調停委員会関大会

タイ・ラオス国境から救出された浅尾吉昭君

同期の友人　田中　文三

浅尾君、無事救出されて本当に良かった。

それにしてもタイ警察は凄い、随分思い切った作戦を展開するものです。君も八日間死と隣り合わせの中で冷静に判断して耐え抜いたと思います。僕等は想像するだけですが、その間一日が数年にも感じられたことでしょう。救出された時「生れ変わった気持ち」といっていましたが十分理解出来ます。よく銃弾の下を駆け抜けて生還したもので、君の勇気と決断力には敬服致します。

在阪の同窓生も心配して、絶えず電話で君のことを話し合っていました。専門部経済学科約四十人の精神的な絆は、未だに強く残っている事を感じます。

ある商社の人に直接聞いた話ですが、君の香港、タイ、ラオス等での評判は非常に良いようです。真面目で、明るくて、行動力があって等々。学生時代の君を考えても当然でしょう。

最初、君の写真を見た時、関大時代勉学一筋、どちらかといえば弱にさえ見えた君のイメージと重ならなくて困りました。しかし救出された時のテレビで、昔の君のはにかんだ様な笑顔が残っているのを見て、本当に懐かしく思いました。

今は国内でも過激派等がせん動している時代です。海外での色々な条件や状況が、君をターゲットにするように動いたとしかいい様がありません。原因は複雑です。

恐らく今も君はタイ・ラオス等東南アジアに深い理解と愛情を持ち続けていると思いますが、一日も早く健康を回復して活躍される事を期待しています。

（22専一経、25大経）

4年連続で金賞

全日本コンテストで吹奏楽部

関西大学応援団吹奏楽部のクラリネット八重奏は、三月二十一日、福井市文化会館で開かれた第十二回全日本アンサンブルコンテスト大学の部で優勝、金賞を獲得した。関大は同コンテストで四年連続金賞に輝いている。

（会長弓場晴男弁護士）の、第五回総会は、四月五日午後六時から天満橋畔「料亭あい粂」で鈴木清子顧問を迎えて開催した。

弓場会長は挨拶の中で「この職域は、他の職域と異にし全員が同じ地位、同じ資格であり、同等の立場で語り合い、親睦を深めることができる唯一の会である」とその意義を強調。これに応えて、当日参加者十七人が、胸襟を開いて飲みかつ語り親睦を深めた。

宴酣わとなるや、弓場会長の独唱会となり、母校関大に伝わる憂唱歌の数々を歌詩が途切れることなく、終節まで歌い上げる迫力と記憶力に拍手が鳴りやまなかった。最後は全員が遒遥歌で気勢をあげ、午後九時散会した。

北側検事正と村山監督歓迎

熊本支部総会

熊本支部（村上行敏支部長）の昭和六十三年度総会は、三月五日午後七時から熊本ホテルキャッスルで開かれた。

今回は、昨年末熊本地方検察庁検事正に着任の北側　勝氏と、翌日の阪神―巨人のオープン戦第一戦のため来県の阪神タイガース監督村山実氏の歓迎会を兼ねての総会で、県内各地より四十人が集った。

村上支部長の歓迎の挨拶の後、北側検事正が大学時代の思い出を交えた謝辞を、続いて大津浮球団職員とともに舞台に登った村山監督は今シーズンの抱負をそれぞれ述べた。特に村山監督の、ザトペック投法さながらの熱のこもった話には全員胸を打たれ、拍手を贈った。

懇談の後、学歌を斉唱し青春を過ごした千里山を偲ぶとともに、再会を約して散会した。

（石原匡高　記）

20年ぶりに第2版

工学部卒業生名簿刊行

関西大学工学会では、このほど工学部卒業生名簿第2版を刊行した。

初版は昭和四十四年三月に発行されたが、約二十年ぶりの平成元年版である。初版のときは約四千五百人の卒業生だったが、今回は約二万六千人を越える大名簿となった。

国文学科同窓会

◇日時　六月二十五日（日）午後三時半～六時半　※午後三時までにご来場ください。

◇場所　太閤園　三階　ダイヤモンドホール（JR「京橋」、京阪「京橋」、地下鉄「天満橋」下車）

◇会費　八〇〇〇円

◇内容　講演（谷沢永一教授）・総会・懇親会

※準備の都合上、六月十日までに出欠席のお返事をお願いします。なお、詳細は関西大学国文学研究室（電話〈〇六〉三八八―一一一一内線五〇一二）にお問い合わせください。

関西大学国文学科

卒業生10人に工学部紫紺賞

工学部の学業成績優秀者に贈られる「工学部紫紺賞」を受けた今年の卒業生は次の通り。

▽機械工学科　岩本　洋
▽機械工学第二学科　横山廣一
▽電気工学科　福田敦男
▽電子工学科　河村　徹
▽化学工学科　北出浩之
▽応用化学科　湯浅　務
▽金属工学科　浜川克也
▽管理工学科　東村健弘
▽土木工学科　角　肇
▽建築学科　浦井雅昭

これからは真の国際人を養成できる大学を

R・オオタニ氏講演要旨②

ニューヨークから見た日本

最後に私が今回来日した目的は、日本に黒船を持ち込もうということだ。アメリカの一流大学の分校を日本に設立しようということだ。前にも触れたが、日本人は国際感覚というものが非常に鈍感であり、従って外交交渉にしても、最終的には相手方の言いなりになってしまうという事例は枚挙にいとまがない。

「相手を知れば百戦危うからず」というように、まず相手を知るということがもっとも重要である。これから日本の国際化はどんどん進むだろう。そうでなくては日本は生き残れない。日本ではこの認識は最近やっと広がってきたが、欧米諸国においては、「国際化」ということは、ごく当たり前のことであり、今さら改めて国家が音頭を取って推進しなければならないものでもない。

私は、世界の指導者と肇々と議論できる、真の国際人を養成したいと考えている。しかし最高学府である大学が、そのような教育を授けているかという点では非常に疑問をもっている。正直申してアメリカは高校までの教育は、大したことはない。基礎的な学力という点では日本の方が優れていると思っている。しかし、大学入学後の四年間、それまでの何分の一しか勉強しなくても卒業できるわけで、優秀な学生の能力を眠らせてしまい、それを企業に送り込み、企業が再教育をしなければならないというのが現状である。

学生本人にとっても、自己の能力の開発の機会を無駄にし、社会にとっても極めて損失が大きいと言える。アメリカの学生は勉強量から見て、日本学生の何十倍もしている。そうでなければ卒業できない。私はアメリカの大学教育のシステムは、世界一だと思っている。優秀な日本の学生にこのシステムで勉強させてやりたい。そうすれば、受験勉強という地獄から日本の子供達を解放してやることもできる。

今後、日本にこうした大学が次々と生まれてくるのは確実だ。その中から素晴しい人材が続々と誕生し、将来の日本を、世界をリードしてゆく逸材もきっと出てくることだろう。

関大人事

―教育職員―

▼退職　三月三十一日付
〈停年〉法学部教授　堀堅士
〈停年〉文学部教授　鈴木祥蔵、竹内良知、津田秀夫、広岡英雄
▽商学部教授　植野郁太郎
▽社会学部教授　尾崎康夫
▽工学部教授　秋田鴻之助、小川雅彌
▽第一高等学校教諭　西岡宸
▽第一中学校教諭　高橋一郎
〈依願退職〉経済学部教授　上田昭三、▽文学部助教授　平雅行
▽法学部専任講師　梶原基司

▼任用　四月一日付
法学部助教授　山本慶介
▽文学部助教授　青山隆、高橋隆博、山本冬彦
▽工学部助教授　中井暉久
▽文学部専任講師　柏木治、田中俊也、山本幾生
▽経済学部専任講師　良永康平
▽社会学部専任講師　石元清英、大石裕
▽工学部助手　大矢裕一
▽第一中学校教諭、第一高等学校兼務　松本益美、山根広治

▼昇格
【法学部】助教授　早川徹、吉田米司
【文学部】教授　杉谷真佐子、葉賀弘
▽助教授　上島紳一
【経済学部】教授　石田浩
▽助教授　竹下公視、渡辺美智子
【社会学部】教授　東村高長
▽助教授　高瀬武典
【工学部】教授　浦上忠、新家昇
▽助教授　隈元昭、白岩正
▽専任講師　青山千彰、新井泰彦、久富康義、鈴木三四郎、近下秀範

▼役職異動　四月一日付
東西学術研究所長　教授　名取栄史
工業技術研究所長　教授　杉原清
法学研究所長　教授　山川雄巳
大学院工学研究科長　教授　森田正信
第一高等学校長　第一中学校長兼務　教諭　長尾宏
第一高等学校教頭　教諭　魚谷嘉孝
第一中学校教頭　教諭　田中正憲

―事務職員―

▼退職　三月三十一日付
〈停年〉法学部事務室　伊勢計典
▽経済・政治研究所事務室　山本泰正
▽総務課　松本秀子、水田久子
▽厚生課　横山昭次
▽保健管理センター長　石山博康
▽図書館次長兼図書館収集整理課長事務取扱　大国克子
▽法学部事務長兼法学研究所事務長　石田健一
▽企画室付課長　中川実
▽総務局総務課長　工藤五郎
▽総務局第二総務課長　吉村利明
▽財務局用度課長　田代淳二
▽大学事務局庶務課長　磯田和正
▽経済学部事務長　達摩省一
▽商学部事務長　小谷信隆
▽就職部就職課長　稲置啓一
▽経済・政治研究所事務長　野原博
▽第一高等学校事務長兼幼稚園事務長　石山博康
▽事務局事務取扱を解く副理事長　稲野治兵衛

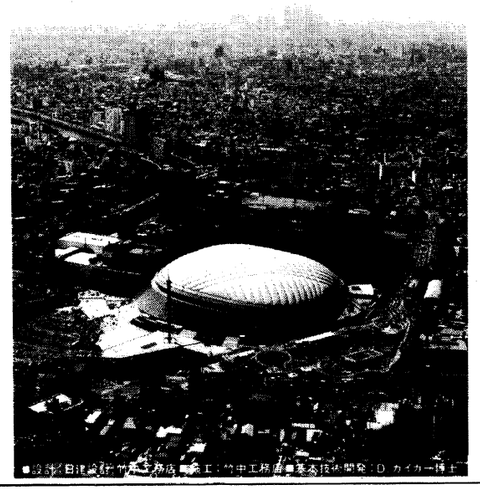
四月一日付
▽立石芳雄
▽同事務室　山口ミサヱ
▽閲覧参考課　岩田美智子
▽学生課　仲西昇
▽工学部事務室　石井俊一
〈依願退職〉文学部事務室　原田正勝、浅田忠久

▼異動　三月三十一日付
創立一〇〇周年記念事業事務局長事務取扱を解く

洗練された味と気軽な雰囲気
気持のあるフランス料理のお店
Amitié
アミチエ心斎橋店
本格フランス料理を楽しくくつろぎながら味わっていただけます。校友の皆様には特別にご奉仕。お気軽にご利用下さい。
下村八郎/39・文卒業
＊ランチタイム　AM11：00～PM2：30
ランチメニュー　¥2,000
昼のご会食は¥3,500から承ります
＊ディナータイム　PM5：00～PM10：00
好評な季節の味覚　¥5,000、¥6,500
シェフお推めコース　¥8,000から
シェフおまかせコース
大阪市中央区心斎橋筋1-5-31・ラ・シーンビル6F
心斎橋・大丸本館と別館の間東へ20m右側
ラ・シーンビル6F　ご予約は下村まで
☎06(251)3076　無休

おそばのおいしいお店、家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば　家族亭
関西店　阪急三番街/ウメダ地下街/阪急32番街/ナビオ阪急/難波戎橋筋/ミナミ地下街/南OSプラザ/地下鉄住之江終点/江坂東急ビル/好道茨木警察北/高槻松坂屋/阪急川西能勢口駅前/国道171号西宮門戸/塚口西/阪急三宮駅西口1・2番/ポートアイランド/堺高島屋/D.Dハウス/阪急地下駅2F/守口京阪百貨店/角田町(ナビオ東)/新神戸駅
東京店　有楽町/渋谷/蒲田/池袋/新宿/荻窪/大森/北千住/八王子/川崎/日比谷
横浜店　ヨコハマルミネ
津田沼店　イトーヨーカドー
札幌店　丸井今井本店
浦和店　伊勢丹
新潟店　伊勢丹
浜松店　松菱
浜松メイワン店

非鉄金属販売
保井金属株式会社
取締役社長　保井剛一
本社　大阪市中央区松屋町六―三
電話〇六(762)五四二一(代)
FAX〇六(762)八一一四六
東京出張所　東京都千代田区内神田一丁目八ノ一一（東京保井ビル）
電話〇三(293)七一〇二(294)六七七六

大空間時代の幕開け
「東京ドーム」は、その象徴です。

野球をはじめとするスポーツに、各種イベントに、フル活躍の「東京ドーム」。室内の気圧を高めて空気で膜屋根を支えるこの建物は、永遠に呼吸を続ける、いわば〝生きた建物〟です。「東京ドーム」は、風、雪、雨、雷などのどんな気象条件にも左右されません。天候の変化を各種センサーでキャッチし、AI（人工知能）が室内の気圧差を自動的に設定。また、温湿度も常に快適に調整しています。まさに年間を通して、春のような快適空間です。この「東京ドーム」の誕生によって、膜構造はますます私たちの身近な存在となってきました。先駆者としての豊富な実績を持つ竹中では、エアードーム以外にも各種の大空間構築技術を保有。空間の規模、用途、経済性に合わせた最適な架構方式を提案しています。
創業1610年　TAKENAKA　竹中工務店
お問い合わせは―総本店広報へ
〒541 大阪市中央区本町4丁目1-13 TEL.06(252)1201
〒104 東京都中央区銀座8丁目21-1 TEL.03(542)7100

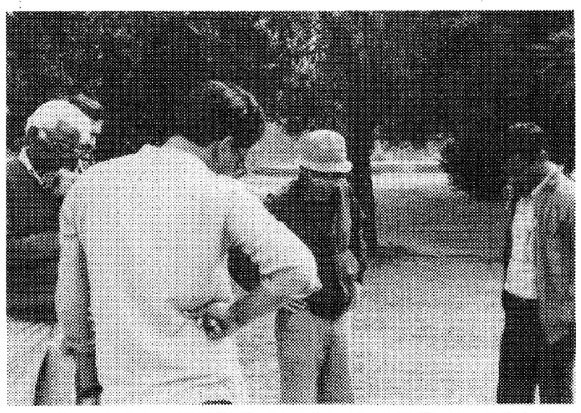
制禦盤配電盤製作・計装工事
共栄電器工業株式会社
取締役社長　柳楽喜祐
本社　〒660 尼崎市杭瀬北町1丁目16番1号
電話大阪(481)8807～0番(代表)・(489)3041番
東京営業所　〒177 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
及工場　電話東京(904)1521番

祇園精舎跡　日印共同学術調査終わる

2000年前の姿を再現
第3次調査で全容究める

発掘調査隊長　網干　善教

一九八九年三月七日、私と徳田隊員の二人はインド政府との協議のため先発として祇園精舎跡の発掘現地を離れた。そして五人の隊員はキャンプの撤収作業を行い、五日遅れた十二日に現地を去りニューデリーで先発隊と合流した。さらに、機器材の輸送手続きのため二人が一週間後発となり、先発隊五人は三月十五日に、後発隊二人は二十二日に大阪空港に到着、五ヵ月にわたる第三次発掘調査を終えて全員帰国した。今回の調査が最終の調査となるため、関西大学創立一〇〇周年記念事業として、関西大学とインド国政府（考古調査局）との共同による祇園精舎跡の発掘調査はこれをもって終了した。結果的には一九八五年の予備調査にはじまり、八六―八七（第一次）、八七―八八（第二次）、八八―八九（第三次）の三年間にわたる発掘調査を行ったことになる。


インド隊と協議する網干隊長（右端はインド隊長ベングラナ博士）

とにかく隊員全員が無事帰国できたことは何よりであった。インドに毎年五、六ヵ月滞在し、ほとんど休日もなく作業することは予想以上に厳しく、かつ不安の連続であった。自然環境の厳しさはいうまでもないが、日常生活の条件もことのほか大変であった。例えば風呂もなければ、電話もない。救急医療体制もない。そうしたなかでの生活は不安であった。しかし調査隊には単に日本国内で行っている調査ではなく、国家間の信頼と協力という立場があること、そして関西大学の使命と責任があり、絶対に後に引けないという自覚があった。とにかく目的に向かって調査を推進しなければならないという命題が課せられていた。

沐浴池の全容現る

第一次発掘調査の試掘によって沐浴池と推定できる遺構を検出し、昨年の第二次調査で特殊な構造をもつ大規模な池跡であることが判明したが、予想以上の規模であったために第三次発掘調査を行い、全容を究めることになった。

また、その東側の隣接地で発掘したこれまた大規模な仏塔の構造と、それをめぐる僧院の様子も十分に把握できなかったこともある。

作業風景

さらに、中央地区で確認した広大な煉瓦敷広場とその上に築かれた小寺院や奉献塔の解明を継続して調査する必要性があった。この点についてインド政府からの要望もあり、関西大学当局の御配慮もあって、第三次発掘調査隊の派遣が承認された。

調査隊は昨年十月二日先遣隊三人が出国、ついで十四日に本隊六人が出発、インド政府機関との打ち合わせ後、直ちに現地入りし、翌日から作業にかかった。

作業は各地区とも雨期に流入した土砂の排土や除草からはじめ、昨年の作業で地層断面観察用にのこしてあった一〇㎝の畦の取り除き作業などから着手した。

なおインド政府派遣隊は第一、二次の隊長であったラーマン博士から、今回はベゾグラ博士に更迭があった。

調査中はほとんど雨が降らず、澄みわたった青空、クリスマスも大晦日も正月もないまま五ヵ月、とにかく毎日が仕事という生活であった。

調査がすすんでくるにつれて、だんだんと全容が現れてきた。

まず沐浴池は東西約二六・五㍍、南北約二四・五㍍で、東西辺では中央に各一ヵ所、南北辺では各二ヵ所の計六ヵ所に沐浴のための階段と、水中に入るための施設であるスロープがつけられているという、インドでも初めて知られた特殊な構造になっていることが明らかとなった。

機械力のないインドで地中深く埋まり、しかも豊かな水の湧く大規模な池を発掘することは困難をきわめた作業であった。しかしそれを克服して発掘を完了し、沐浴池の中に水が溢れ、今から二千年前の築造された時と同様の姿を再現できたとき、「本当によくここまでやることができた」との感激をもったのである。

仏塔めぐる僧院の実態確認

一方、仏塔をめぐる僧院の実態もわかった。第二次調査では仏塔の北と西側の僧院の様相はほぼ発掘を終わっていたが、東と南側は未調査であった。第三次調査では仏塔の上にのこしてあった畦の除去と共に、塔の東側から僧院を求めて発掘を開始した。そこには幾重の僧院の煉瓦壁があった。

南側の僧院も確認できた。ここでは下層にクシャーン朝の建物跡である煉瓦積みの遺構があり、その上にグプタ朝の建物群が重っていた。そして約十一室の仕切の壁があると推定できた。

僧院跡の東も南側もそれぞれ東限、南限を確認したと思っている。

塔の中心部の発掘も行ったが、結果的には舎利埋納の遺物はみられなかった。インドの仏塔の場合、こうした埋納のない例があるということであった。

中央地区の発掘

第二次調査で煉瓦敷きの広大な施設と、その上に小寺院や奉献塔が建てられた遺構を検出したが、第三次ではその地域を拡張して様子を確めようという目的で発掘を行った。

煉瓦敷広場は約八〇㍍の範囲に敷設され、そのなかに新たに三基の奉献塔、もう二基の沐浴池、そして多くの僧院跡などが出土した。

なかでも特に注目されるのは大規模な沐浴池であった。

発掘調査前、遺跡地の中央部に大きな池状の凹地があった。これについてはあまり気にしていなかったが、今回の発掘調査でこれがもう二つの沐浴池の名残りであることがわかった。この中央地区の沐浴池の規模はトレンチ（試掘構）調査の結果、東西方向約四〇㍍、南北方向約二五㍍の長方形のものであり、煉瓦壁の構造が西北地区の沐浴池と同様上下二段の構造になっていることなどが判明した。この池もクシャーン朝（約二千年前頃）に築造され、ポストグプタ朝（六～八世紀頃）まで修、改築されながら使用されていたと推定できる。

多数の土器や遺物

第三次調査では約三万点の土器のほか総数三五一点の土器以外の遺物が出土した。したがって三年間の調査では土器及びその破片は約十五万点、土器以外の遺物の総計は一、三五六点となった。

今次の調査も仏頭など貴重な遺物が出土した。関大隊は野外の発掘作業と並行して、土器研究に必要な約三、〇〇〇点の各種の土器と遺物のすべてについて実測を行い、必要なものの写真資料を整えた。

口や文章で表わせば実に簡単になってしまが、この作業量は野外の発掘作業以上に大変な仕事であり、しかも停電の続く夜間作業であって、隊員が精魂をこめて行ったことを特に記しておきたい。

今回の第三次発掘調査をもって、四年間にわたる調査は終わった。恵まれた自然環境や生活条件のなかで生活している日本では想像も出来ない条件のなかでの毎年六ヵ月近い現地作業は、多くの困難を乗り越える自分自身との闘いでもあった。

調査を終わって現地を去る前日、発掘現場に立って思ったことは「よくこれだけ掘れたものだ」ということであった。

この日・印共同調査で発掘した遺構はインド政府の保存計画に基づいて行われることになっている。恐らく大仏塔とその周辺の僧院の一部は修復されて保存される予定であり、西北地区の沐浴池は再び埋められて保存される計画である。

関大隊はすでに調査報告書の一部として、発掘調査前に作成した祇園精舎跡の二〇〇分の一と一、〇〇〇分の一の測量図を印刷し、今後、世界の大学、研究機関等に寄贈されることになっている。また三年間にわたる発掘調査の報告書の作成にかかり、三年後に完成し、その成果を詳細に発表する計画である。

この調査を行うにあたり多くの機関にお世話になった。インド政府考古調査局、駐日インド大使館神戸総領事館、日本国外務省、文部省をはじめ私学振興財団、とりわけインドでは駐印日本大使館野田英二郎閣下をはじめ館員の方々に御援助をいただいたことを記して感謝の意を表したい。

出土した仏頭

関西大学創立一〇〇周年記念事業資金

寄付申込者ご芳名

◆一〇万円

田村　正孝（堺市）
田和　伸作（和歌山県）
武内　義朗（愛知県）
武市　勝臣（池田市）
武富　啓介（守口市）
立野権一郎（石川県）
妻木　孝雄（和歌山県）
津田　威（鳥取県）
津野　忠昭（河内長野市）
塚田　邦善（長岡京市）
辻　豊樹（東大阪市）
辻井　裕（泉大津市）
坪井　賢（名古屋市）
堤　強（福岡県）
土屋　輝和（大阪市）
寺尾　嘉旭（姫路市）
寺田　浩一（吹田市）
寺脇　靖一（滋賀県）
戸口　崇（吹田市）
土井　昭一（吹田市）
東嶋　祥二（奈良県）
堂園　三夫（豊中市）
富田　義久（福岡県）
富山　滋（神戸市）
豊田　福夫（山口県）
永山　正康（札幌市）
中　恒美（大阪市）
中井　俊子（箕面市）
中尾　哲雄（兵庫・神崎郡）
中島　英美（尼崎市）
中嶋　信行（奈良県）
中田　耕太（堺市）
中田　卓三（西宮市）
中田　宏明（四条畷市）
中谷　芳一（東大阪市）
中西　保（神戸市）
中野　喜一（愛知県）
中野　鉄一（豊中市）
中村　賢治（神戸市）
中村　寿一（枚方市）
中村　正宏（長岡京市）
仲川　實三（宇治市）
仲田　忠孝（兵庫・神崎郡）
仲田　浩之（洲本市）
仲野　栄次（大阪市）
長井　敏幸（広島市）
南野　信幸（高知県）
南邊　義昭（大阪市）
鳴坂　祐二（岡山市）
新村　實夫（松原市）
新田　知四（東大阪市）
新田シゲノ（大阪市）
西内菊次郎（大阪市）
西浦　宏（大阪市）
西川　和夫（大阪市）
西川　俊雄（神戸市）
西口　利亮（八幡市）
西田　信治（大阪市）
西田　正憲（加古川市）
西濃　治夫（東大阪市）
蜷川　治（大阪・泉南郡）
温井　基治（和歌山県）
野上　隆生（岸和田市）
野村　篤義（山口県）
野村　武司（堺市）
濱岡六右衛門（京都府）
羽倉　祐二（枚方市）
羽田野　進（岐阜県）
花野　敏夫（高槻市）
橋本　達二（東大阪市）
原　修（宝塚市）
原　育敏（宝塚市）
原田　忠（広島県）
原田　泰幸（豊中市）
原山　幸雄（三重県）
春木　国広（岸和田市）
春山　忠幸（交野市）
早川　弘（奈良県）
幡手　勝義（大阪狭山市）
畠山祥一郎（香川県）
浜家　久夫（広島県）
服部　勲（福井県）
服部　道彦（三重県）
林　功（尼崎市）
林　義弘（八幡市）
濱渦　重壽（貝塚市）
濱田　昭（奈良市）
濱野　豊哉（高松市）
火野坂四雄（豊中市）
広末　忠彦（岡山県）
人見　弘司（奈良市）
東山　通泰（岐阜市）
平井　静（福井県）
平沢　俊美（名古屋市）
平田　戈一（尼崎市）
廣岡　正勝（川西市）
古田　栄（奈良市）
古谷　三男（山口県）
古山　宗一（豊中市）
深尾　清造（福岡市）
藤井　末利（尼崎市）
藤川　康典（奈良市）
藤木　修（豊中市）
藤田　圭造（大阪市）
藤田　卓（奈良県）
藤田　征夫（豊中市）
藤本　貞雄（山口県）
藤本　隆志（宝塚市）
藤本　博（兵庫・津名郡）
藤原　義正（岡山市）
福島　優（三重県）
福家　正見（伊丹市）
福川　潤二（東大阪市）
坊　時也（奈良市）
増田　利幸（名古屋市）
円井　悦二（西脇市）
丸野　晃（尼崎市）
丸橋　圭介（堺市）
松井　治（豊中市）
松井　興朗（岡山市）
松尾　智祐（大阪市）
松岡　明宏（愛媛県）
松岡　保秀（奈良県）
松川　茂（堺市）
松下　信雄（熊本市）
松谷　松雄（大阪狭山市）
松永　栄寿（大阪市）
松村　篤（東京都）
松村　芳雄（福井市）
松本　三芳（和歌山市）
政田　光博（大阪市）
前川　佳宏（大阪市）
前田　勝美（富田林市）
前田　隆弘（寝屋川市）
前田　秀雄（茨木市）
増田　興三（名古屋市）
牧　拓司（三田市）
牧　峻三（枚方市）
萬野　勇次郎（枚方市）
宮崎　智（岡山県）
宮原　茂宏（岡山県）
宮本　英修（奈良県）
宮本　君男（大阪市）
宮本　正雄（大阪市）
宮本　勝（福井県）
三浦　和夫（和泉市）
三浦　興（高槻市）
三浦　清次（宝塚市）
三藤　泰弘（神戸市）
三宅　一彦（広島市）
三宅　良昭（姫路市）
三好孝太郎（箕面市）
水島　渡（枚方市）
水野　勝之（愛知県）
南　光弘（大阪市）
峯　好成（尼崎市）
味波　亨（奈良県）
明珍　嘉宣（大阪市）
向井　博人（神戸市）
向井　雅大（広島県）
村上　清（京都市）
村上　幸一（松山市）
森　功（香川県）
森　昌策（宝塚市）
森　一（岡山県）
森川　正憲（神戸市）
森口　俊満（奈良県）
森下　清昭（柏原市）
森園　一美（吹田市）
森田　重正（三木市）
森田　康義（交野市）
森本　修司（奈良県）
森本　恒雄（大阪市）
本木　弥生（高槻市）
本屋敷　寛（堺市）
山井　勲（吹田市）
山尾　文男（枚方市）
山岡　一夫（島根県）
山上　弘（金沢市）
山口　賢三（名古屋市）
山口　進（柏原市）
山口　保（大阪市）
山口　弘次（福井県）
山下　繁（兵庫・三原郡）
山下　保（大阪市）
山下　光雄（枚方市）
山中　宏允（大阪・三島郡）
山村　昭（奈良県）
山本　茂夫（守口市）
山本　泰治（宇治市）
山本　善雄（大阪・泉北郡）
山本　欽照（神戸市）
山本　義博（奈良県）
梁川　伊一（京都市）
幸松　信博（福岡市）
行松　春重（東大阪市）
湯浅　清（京都・北桑田郡）
湯浅　勇（西宮市）
吉川　政夫（東大阪市）
吉澤　礼一（大津市）
吉本　泰造（大阪市）
横手　実（和歌山市）
横山源一郎（京都市）
吉岡　理（茨木市）
吉川　尚顕（藤井寺市）
吉田　清（名古屋市）
吉田　行之（福岡県）
吉田　七郎（香川県）
吉田　正義（兵庫・佐用郡）
吉田　辰司（鹿児島県）
米田　利雄（三重県）
與野　宏一（泉南市）
来田　秩裕（大阪市）
若菜　良一（尼崎市）
若林　英勝（堺市）
若間　彦七（東大阪市）
渡辺　昭良（加古川市）
渡辺　允正（広島県）
渡辺　稔（香川県）
和合　雅興（明石市）
和田　正徳（豊中市）
脇　忠仁（広島市）

◆五万円

芦田　光徳（和歌山市）
荒川　清美（滋賀県）
荒木　功（京都・天田郡）
荒木　信雄（大阪市）
秋田　隆治（八尾市）
青木　松司（愛知県）
青山　功（交野市）
赤木敬志郎（和歌山県）
赤坂　浩（八尾市）
浅野　尚雄（豊中市）
朝日　利夫（福井市）
東　寿（寝屋川市）
東　寛二（和泉市）
有本　芳治（東大阪市）
伊藤　勝啓（尼崎市）
伊藤　雄彦（大阪市）
井関　基弘（奈良市）
井東　敏彦（広島県）
井上　正（堺市）
井上　道明（西宮市）
井上　宜清（富田林市）
磯本　慶喜（愛知県）
稲葉喜兵衛（岩手県）
乾　義尚（大阪市）
岩田　勝治（奈良県）
今井　治（寝屋川市）
今中　勲（広島市）
今橋　靖刀（山口県）
今邨　嘉明（愛知県）
石井　温己（愛知県）
石崎　靖勇（大阪市）
石田登喜雄（大分市）
石東　芳文（京都市）
石濱　久雄（愛知県）
石原　正一（京都市）
石橋　晃（和泉市）
石橋　孝也（富田林市）
池上　木己（加古川市）
池田　雅宣（三重県）
池田　守（尼崎市）
池畑　芳忠（大阪市）
猪塚　哲（福岡県）
宇川　健二（愛媛県）
卯野　勲（京都市）
鵜飼　洵（神戸市）
植田　逸男（東大阪市）
植田　圭典（伊丹市）
内田　宏利（京都市）
馬詰　忠（枚方市）
梅田　紀男（尼崎市）
奥野　忠道（岡山県）
奥林　等（大野市）
奥村　保夫（大津市）
押川　勝（川西市）
岡崎　隆英（福岡県）
岡崎　好春（広島県）
岡田　末雄（京都・中郡）
岡林　教夫（茨木市）
岡村　宏之（山口県）
岡本　圭司（大阪市）
岡本サチ子（兵庫・神崎郡）
岡本　剛（大阪市）
岡本　正久（京都市）
岡本　道晴（泉南市）
岡本　貢（高知県）
岡本　能樹（大阪市）
岡山　文憲（守口市）
沖田　勇（三田市）
小笠原　稔（広島県）
小河　隆一（宇治市）
小川　勇（名古屋市）
小澤　淳二（京都市）
小澤　時和（堺市）
小田　基慈（滋賀県）
小原　輝夫（神戸市）
小原　若彦（豊中市）
太田　憲昭（三重県）
大川　正人（神戸市）
大久保聰子（長崎県）
大下　勝雄（枚方市）
大谷　孝造（和歌山市）
大谷　省三（大阪・南河内郡）
大津　清泰（宝塚市）
大塚　学（福岡県）
大西　巌（三重県）
大西　舎（尼崎市）
大橋　政之（宝塚市）
大濱　康文（奈良県）
大原　正己（愛知県）
大森　巌（愛知県）
尾割ちか江（愛知県）
加賀見義公（富山県）
加藤　卓三（京都市）
河合　忠雄（向日市）
河江　隆（門真市）
河崎　節夫（奈良県）
河瀬　明人（大阪市）
垣本　宗一（八尾市）
門嶋　康一（堺市）

（つづく）

人事動静

JR西日本は、三月二十三日、京都駅長に小枝忠夫氏（38学経、大阪中央営業支店販売一課長）の就任人事を発表した。

滋賀支部がゴルフコンペ

滋賀支部は、昨年の支部総会を機に結成されたゴルフ部会の第一回コンペを二月十九日、快晴のオレンジシガカントリークラブで開催した。

冬期のため参加者十一人と少なかったが、昭和十六年卒業の大先輩から六十年卒業の幅広い年齢層の校友が宮尾会長寄贈の大優勝カップを目ざし和気あいあい、熱戦を純りひろげた

当日の成績は次の通り。

▽優勝　坂口康一
▽二位　衣斐淳一
▽三位　宮尾一郎

なお、今後年間三回程度のコンペを予定。入会希望者を募集している。お問い合せは左記へ。

近江鍛工㈱　坂口康一　電話〇七七五（四五）三三八一

福原正博氏（10大予1、13大法）二月二十五日、心不全のため死去。七十三歳。

水野剣二氏（18専1商）三月五日、死去。七十三歳。

山村たねさん（山村嘉巳文学部教授の母）三月二十一日老衰のため死去。八十三歳。

高橋　猛氏（元一高、一中教諭）三月二十二日死去、六十六歳。

二宮正彦氏（34院修史、法人評議員、校友会代議員、史学地理学科同窓会長、生国魂神社宮司）四月二日、心不全のため死去。五十八歳。

大阪府人事異動（4月1日付）

〈部長級〉

収用委員会事務局長　岩井幹郎（30法）▽広報長兼府民情報室長　森本賢一（32法）▽総務部税務長　江田直介（31法）▽理事（用地担当）　高田常三郎（35法）▽府立羽曳野病院事務局長　仲　耕作（34法）▽中央卸売市場長　福家一行（35法）

〈次長級〉

▽福祉部次長　今堀富三（35法）▽環境保健部次長　池中昇三（37法）▽地方労働委員会事務局次長兼同調整課長　児子　進（34法）▽総務部庁舎周辺整備室長　松本進一（37法）▽企画調整部同和対策室次長　豆成通彦（32経）▽生活文化部参事（財団法人国際花と緑の博覧会企画協会企画調整部審議役）　吉房康幸（39経）▽環境保健部参事（財団法人大阪産業廃棄物処理公社堺事業部長）　梶村兼司（31法）▽企業局参事（関西国際空港株式会社調整部審議役）　井上正雄（33法）▽北府税事所長　加藤一樹（32法）▽堺府税事務所長　藤田弘幸（32法）▽中央労働事務所長　藤田　實（34商）

〈課長級〉

▽府民情報室総括参事　原田幹夫（40法）▽府民情報室参事　椀田忠典（40法）▽税政課長　谷野弘次（37経）▽課税課長　角野光男（32経）▽課税課検税監　秀平邦太郎（44法）▽用度課長　菱井進（40法）▽北府税事務所次長　竹田寿夫（38法）▽東成府税事務所長　大谷照博（32法）▽西成府税事務所長　町原正明（31法）▽和泉自動車税事務所長　西野　武（30専）▽国際交流課参事　寺川淳介（39経）▽国際花と緑の博覧会協力局総括参事　高田勝弘（41法）▽消防防災課長　片岡健造（39法）▽障害福祉課参事（社会福祉法人大阪府精神障害者コロニー事業団管理部長）　仲田満夫（38法）▽府立羽曳野病除事務局会計課長　安井輝夫（31法）▽商業課長　園村健二（39法）▽水産課長　杉本信夫（38法）▽労働政策課長　村上孝二（38法）▽用地室長　高橋　桂（37経）▽池田土木事務所次長　河合常雄（34経）▽枚方土木事務所次長　山口信男（39社）▽八尾土木事務所次長　門林淳（38法）▽南部流域下水道事務所次長兼同総務課長　大門喜八郎（33法）▽南部水道事業所次長兼同業務課長　大島　明（33法）▽議会事務局調査課長　奈良啓一（39法）▽文化財保護課長　川瀬　誠（40法）▽府立大学事務局庶務課長　石津善弘（41法）

兵庫県人事異動（4月1日付）

〈部次長級〉

▽西播磨県民局長　津田貞之（35商）▽東播磨県民局参事兼県立中央農業技術センター所長　矢野弘雄（34法）▽保健環境部次長　藤和重喜（33法）▽都市住宅部次長　山口隆夫（28法）▽西神戸財務事務所長　藤本　繁（31法）▽阪神県民局参事兼県立塚口病院管理局長　田中　諭（33法）▽東播磨県民局参事兼県立加古川病院管理局長　井尻喜三郎（35文）

〈課長級〉

▽総務部管財課長　島谷耕次郎（39商）▽生活文化部消防交通安全課長　光森規晶（36法）▽商工部新産業観光課長兼企画部企画参事　田中裕彦（42法）▽都市住宅部政策課長兼企画部企画参事　土出嘉明（36経）▽（議会事務局総務課長）　岸本幸平（36法）▽東播磨県民局参事兼社分室長・人事管理員　滝川忠夫（36法）▽東京事務所次長（地域総合整備財団＝ふるさと財団＝出向）　澤田　功（41法）▽県立柏原病院業務部長　佐良朝弘（34法）

＝大阪市人事異動　4月1日付

〈局長級〉

▽監査事務局長　清水利三（33法）

〈部長級〉

▽計画局副理事（市民局新区開設準備室次長）　石部勝（38法）▽民生局福祉部長　荒木久友（38法）▽新市民病院建設準備室長　和辻昇（38法）▽小児保健センター管理部長　江村俊一（35法）▽国際花と緑の博覧会協力部副理事　寺川治（43法）▽西区長　駒田喜信（36法）▽港湾局副理事・大阪港開発技術協会出向予定　池田福夫（38法）▽同・大阪港振興協会出向予定　内田英昭▽水道局副理事・水道事業サービス協会出向予定　吉川正之

＝神戸市人事異動　4月1日付

〈部長級〉

▽土木局参事　矢野直樹（30法）▽同　広田光嗣（28経）▽教育委員会事務局総務部長　真渓健治（37法）▽同局博物館事務局長　船田史郎（33法）

〈部長級昇格者〉

▽経済局中央卸売市場西部市場長　大角喜一（37法）▽灘区副区長　木村良一（39経）▽消防局予防部長　吉宗駒郎（32法）

＊ウーロン茶の最高級品！中国直輸入
特に肥満体質の方に最適
●無農薬・カルシウム465mg/100gが多く、カフェインは微量（0.007）！冷やして飲んでも最高です。
減量やせたい方に
アルカリ飲料　美容健康茶
ウエイトコントロール　味はさわやかマイルド
ティーバッグ20袋入　特選お徳用130g入　2,000円
ティーバッグ50袋入　特選お徳用130g入　2,500円
特選マイルド300g入　1,500円
3,000円
楊貴妃　ヨーキヒ
中國皇茶　楊貴妃
●お求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・スーパー・酒販店でどうぞ
お問い合わせ……サンプル差し上げます。
中国直輸入総発売元　株式会社タムラ　試供品請求券係
大阪市北区芝田2-6-18 商工中金ビル ☎(06)373-2101㈹

全国仲人連合会結婚相談所
―関大卒業生は入会金無料―
579東大阪市本町4-3　☎0729-86-0002
566摂津市千里丘2-9-34　☎06-388-8092
大谷　昊（29学1経卒）

素朴な海辺の旅情――
丹後　久美浜
懇親旅行、家族旅行、ゼミ旅行、クラブ合宿など、お気軽にご利用下さい。
―推薦　前法学部教授・拳法部顧問　堀　堅士先生―
生うに料理（1年中）
カニ料理（11月中旬～3月下旬）
カキ料理（11月中旬～3月下旬）
●その他ご予算に応じて料理いたします。
小天橋温泉（展望風呂完成）
山陰海岸国立公園　旅館小天橋
平井善次郎（31年法学部卒）
■ご予約・お問い合わせは
☎(07728)3-0371(代)
京都府久美浜町湊宮（湊大橋手前）

プランニングから印刷までをトータルでプロモートする
東洋紙業株式会社
取締役社長　朝日多光
大阪本社：大阪市浪速区芦原1－3
☎(06)567－2111(大代表)　〒556
東京本社：東京都品川区南品川6－1
☎(03)450－2111(大代表)　〒140
工　場：関西/芦原　平野　美原　東大阪
関東/品川　横浜　王子
営業所・関連工場：札幌　名古屋　徳島　広島　九州
営業品目：企画・デザイン　一般印刷　出版印刷　ビジネスフォーム　紙器　特殊印刷

就職あっせん
決断するは今！転職・就職の好機。
多数の企業があなたを求めています
●各職種求人多数あり
事務系　貿易・営業・企画・開発・総務・労務・経理・コンピュータなど
技術系　電子・電気・化学・機械・土木・建築・生産・設計・SEなど
●ご登録・ご相談の秘密は絶対厳守します
●費用は一切不要です
●35歳位までが有利ですが、40～50歳台の求人もあります。
★まずお電話ください。（歴送・ご来社も可）詳細お打ち合わせします。
求人も常時受け付けております。
タナベ エリート・バンク　年中受付（平日19時迄　日祝土17時迄）
労働大臣許可　経営管理者・科学技術者紹介所No.27・コサ・4
〒564　大阪・吹田市江の木町17-10（タナベ経営ビル）
☎06(338)3451

営業科目
陶磁器部・機械器具部
工事部（耐酸工事・タイル工事・サッシ工事・外）
公害防止機器並に装置・設備工事の斡旋及び其他関連事業
貸ビル・貸マンション
ヤノシゲ株式会社
取締役社長　矢野文雄
大阪市北区西天満六－八－二　ヤノシゲビル
電話（364）一〇五一番（代表）

最高の設備＋すぐれた技術　これが今日の当社の信用を築き　優秀な製品を生みだしています
超高速のオフセット輪転機が稼動！
■業界専門紙誌
■社内報　■官庁関係公報
■チラシ・カタログ　■特に大量の印刷物
第一印刷出版株式会社
本　社　大阪市福島区福島7丁目13番1号
電話　大阪（06）458―5871（代表）
ＦＡＸ（06）458―1000
新聞工場　大阪市福島区福島7丁目17番18号
電話　大阪（06）451―6871
ＦＡＸ（06）451―9937